

## 令和元年度 第 1 回県北広域振興圏地域運営委員会議（1/6/3 開催）における意見・要望に対する対応状況

発言者	No.	御意見・御提言	担当	対応状況・対応方針
間 健倫 委員	1	農福連携について、今年も声がかかると思っていたら、別の事業所に声がかかったようであった。農家など受入側が断らない限りは、継続して声をかけてほしい。	農政部	農福連携につきましては、いただいた御提言も踏まえて、農家及び施設の意向を十分お伺いしながら、連携した対応を図っていきます。
青澤 学 委員	2	結婚したくてもできない若い方はたくさんいると思うので、そのような方を対象とした支援が必要ではないか。	保健福祉環境部	<p>県と市町村、民間団体が連携し、（公財）いきいき岩手支援財団が運営する“いきいき岩手”結婚サポートセンター「i - サポ」では、会員登録制による出会いの場の提供など、結婚を希望する方の支援を行っています。</p> <p>久慈市及び二戸市内において、それぞれ月 2 回、会員登録やお相手検索などを行う「おでかけ i - サポ」を開催しており、振興局では、引き続き様々な機会や媒体を通じた PR により、「おでかけ i - サポ」の活用促進に努めていきます。</p>

青澤 学 委員	3	カシオペアサマーパーティーのような若者の交流の場は年に1回だけではなく、何回か機会を作ってもらえると良いと思う。	二戸地域振興センター	若者が気軽に交流できる機会をつくることで、県北地域における若者交流人口の増加や、地域の若者達の自主的活動の促進に繋げるために、各関係機関と連携しながら取組の強化をしていけるよう、頂いた御意見を参考に、今後検討していきます。
安藤 正樹 委員	4	マグロの漁獲制限について、その制限枠の見直しを国に働きかけてもらえないか。マグロを放す際に他の魚も放してしまうのはもったいない。	水産部	県では水産庁に対して、クロマグロの資源量が回復した場合、資源の回復に合わせた速やかな漁獲枠の見直し及び拡大について要望しているところです。 また、定置網漁業におけるクロマグロの漁獲回避・漁獲抑制のための改良漁具の開発と、開発後の導入に係る経費の支援事業創設についても要望しているところです。
石橋 和哉 委員	5	雇用対策について、機械化や賃金工場など働き方改革の手法はたくさんあるが、どのような形であれ雇用確保に向けて何かしらのバックアップをしてもらえる体制があれば良い。	産業振興室 二戸地域振興センター	県北の産学官及び異業種で構成する「北いわて未来づくりネットワーク」（令和元年10月設立）を推進基盤として、県北の特徴である女性の雇用・活躍等を推進し人材確保等に取り組むとともに、地場産業の高い技術や優れた品質等の強みを生かした更なる産業振興を図るため、企業の未来技術（AI・IoT）や経営革新等の取組を支援していきます。

大沢 貴規 委員	6	アパレル産業や食産業では、相当な廃棄が出ているので、AIやIoTを活用した対策を講じる必要があると思う。	経営企画部 二戸地域振興センター	県北縫製業の収益向上・生産性向上へ向け、今年度からAI・IoTの活用について県大との協働研究を実施しており、適切な生産管理も踏まえ、検討を進めていきたいと考えております。
大建 ももこ 委員	7	インバウンド対策として、観光パンフレットの多言語化が進んでいるが、外国人と日本人では生活スタイルや視点が異なるので、単に日本語のパンフレットを英訳するのではなく、外国人の方たちの口コミ等を踏まえた外国人目線に立ったパンフレットを作成した方が効果的ではないかと思う。外国の方は、東京から二戸までの移動時間について「たった2時間半」という感覚を持っているようなので、視点を大きく変える必要があると思う。	産業振興室	訪日旅行に特化した情報発信を行っているブロッガーを招請し、県北地域の知名度向上を図る取組を実施したところですが、インバウンド誘客拡大に向け、観光パンフレットの多言語版の作成や現地で配布されるパンフレット等への広告記事の掲載など、効果的な情報発信に向け検討していきます。
大矢内 利男 委員	8	農業分野において、今年度は様々な新規事業が展開されるようだが、これまで実施してきた事業についても、必要性があるものについては是非支援を継続してほしい。	農政部	新規事業だけではなく、継続事業においても地域の農業者等へ具体的な提案をしながら支援を進めていきます。

大矢内 利男 委員	9	農業分野において、国の新規事業についても、県には話を理解してもらって、折を見て地域の農家さんたちに情報提供してほしい。	農政部	国等において、新たな補助事業が創出された際には、地域の農業者等へ団体等を通じて情報提供していきます。
小野寺 祐治 委員	10	各業界で人手不足が深刻な状況であり、若者が学べる機関をつくるなど、県北地域において必要な人材を育成するためのシステムを構築することが今後重要になってくると思う。	二戸地域振興センター	県北ものづくり改善塾をはじめとする県北ものづくり産業ネットワークの事業を通じて、教育機関との連携も図りながら、今後も地域のものづくり産業を支える人材の育成に取り組んでいきます。
小野寺 祐治 委員	11	オリンピックの聖火リレーのルートから九戸村と軽米町が抜けてしまった。県が決めるものではないが、県北地域をこのようなイベントを活用して盛り上げて行ってほしい。	経営企画部 二戸地域振興センター	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた県北地域の盛り上げについては、オリンピックの聖火リレーのルートと並行し、国の組織委員会から本県に与えられた 66 人の聖火リレーランナーを、全市町村から選出することで調整しているところです。 また、聖火に関する看板事業であるパラリンピック聖火フェスティバルの調整を全市町村で進めるとともに、聖火ランナーが通過しない町村の皆さまにも御参加いただき、オリンピック・パラリンピックの価値を共有できるような関連事業の検討も進めていきます。

澤村 よう子 委員	12	若い時にボランティアした分を、歳をとった時にボランティアで返してもらえそうな、ポイント制度のようなものがあればいいと思う。	保健福祉環境部	介護保険法に基づき市町村が実施する「介護予防・日常生活支援総合事業」のメニューとして、高齢者が地域のサロンや介護施設等でボランティア活動を行った場合にポイントを付与する、「ボランティアポイント制度」があります。 県内では、軽米町、八幡平市、岩手町において、ボランティア活動に応じて地域での買い物等に利用できるポイントを付与する等の事業を実施しています。
中田 美保子 委員	13	地元企業を知ることを目的として、地元高校生を対象としたバスツアーを、昨年度、計画してもらったが、良い取組だと思うので今後も続けてほしい。	二戸地域振興センター	県北地域の高校生の地元企業に対する理解促進のためにも、引続き地元企業訪問バスツアー及び企業人による出前講座を実施していきます。
中田 美保子 委員	14	カーリングは、準備も簡単で、少し練習するだけで、子どもやお年寄りもみんな楽しくゲームができるスポーツだと思うので、環境整備を頑張ってもらいたい。	二戸地域振興センター	県北広域振興局では、今年度から、若者カーリング愛好者による団体「ミライリンク」が主催するジュニアカーリングスクールの開催支援をしています。引き続きカーリングの認知度向上と競技人口の拡大のための取組を進めていきます。

森川 則子 委員	15	カーブミラー等の道路施設について、老朽化や鏡面の向きの異常により困っている住民は多いが、住民からすればどこが管理者でどのように問い合わせれば良いのか分からないので、細やかな目配り、チェックをしていただきたい。	土木部	<p>カーブミラー等の交通安全施設については適切な管理に努めておりますが、当該施設は道路によって管理者が異なること、許可を受けて道路管理者以外が設置しているものがあるなど、住民の方々にとって分かりにくいものとなっております。国や市町村とも情報共有しつつ、管理に努めていきますので、何か不備を見かけましたら振興局土木部へ連絡いただくなど、管理への御理解と御協力をよろしくお願い致します。</p> <p>(参考 国：国道 45 号、県：国道 281 号及び県道、市：市道 )</p>
森川 則子 委員	16	外国人労働者がどの地域にどのくらい来ているのか、その実態が分からないのが気がり。	産業振興室	<p>岩手労働局の HP で、本県における平成 30 年 10 月末現在の公共職業安定所別外国人労働者数等について取りまとめた資料が公開されております (検索ワード「岩手労働局 外国人雇用状況」)。</p> <p>市町村ごとの外国人住民登録者数については、岩手県の HP で御確認いただけます (検索ワード「いわて国際交流要覧」)。</p>

山下 達也 委員	17	来年開催される東京オリンピック・パラリンピックにおいて、農福連携で作ったというストーリーを持たせた農作物を選手村に届けることができれば、より農福連携に付加価値が出てきて良いのではないか。	農政部	オリンピック・パラリンピックへの食材供給については、大会組織委員会が一定のルールを設けて調達することとしており、県産食材が選定されるよう、引き続き、県として働きかけを行っていきます。 また、農福連携による付加価値向上については、今後検討していきます。
山下 達也 委員	18	多機能の集出荷場を再整備し、県北地域に何か所か拠点を設ける。そしてトラックを満載にして各拠点を運び、物流の効率化を図りコストを下げる。このようなことができないか現在検討しており、県にも支援してほしい。	農政部	現在、JAにおいて集出荷施設の機能再編計画が示されているところですが、県では、JAの計画達成に向け、具体的な整備等について、必要に応じて支援していきます。
山下 達也 委員	19	グローバルGAPについて、日本産の安心感をどのようにPRしていくのか、何を目指していくのか、行政も含めて検討できれば良い。	農政部	グローバルGAPの実践により、リスク管理や経営改善のほか、海外輸出やインバウンド対応等の販路拡大などが期待されます。 取組の有利性を確保するためには、認証農場からの積極的な情報発信に加えて、県では岩手県GAP推進チームが卸売業者等に対して情報提供するとともに、国が主催するイベントを活用したPRなど、消費者からの認知度を高めていく必要があると考えています。

山下 達也 委員	20	<p>使える畑を増やすために湧水処理を作ることは大変効果的で、農家の規模拡大にもつながるので是非力を入れて進めてほしい。</p>	農村整備室	<p>県では、平成 27 年度から 5 年間限定の県単事業として、「活力ある中山間地域基盤整備事業」により中山間地域における営農条件の改善につながる農地の湧水処理や区画拡大等を支援してきました。</p> <p>当該事業は今年度が最終年度となっていますが、県内の多くの市町村・土地改良区から継続要望があることから、現在、後継事業の創設を検討中です。</p>
----------	----	--	-------	---



山下 達也 委員	21	<p>県北地域にも、ヘリコプターが十数台離着陸できる場所があるのか教えてほしい。また、そのような場所がないのであれば、普段は運動公園的な機能を持たせるなどし、いざという時には中継地点などにも使える離着陸場所を整備してもらえれば便利だと思う。</p>	経営企画部	<p>県では、災害時など常に利用できる飛行場外離着陸場（※）の確保に加えて、大規模な災害や林野火災などに対応するために、大型ヘリコプターが複数機離着陸できる飛行場外離着陸場の確保について、各消防本部消防長、各市町村防災主管課長へ呼びかけているところです。</p> <p>現在、県北地域にはヘリコプター十数機が着陸できるような離着陸場はありませんが、災害時には、状況や活動内容に合わせ、花巻空港や陸上自衛隊八戸駐屯地への離着陸のほか、久慈・二戸管内の複数の飛行場外離着陸場に交互に着陸することで対応しています。</p> <p>※ 久慈地区には長内など 18 か所、二戸地区には堀野など 17 か所あります。</p>
----------	----	--	-------	--